



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月9日

上場会社名 株式会社 NITTOH

上場取引所 名

コード番号 1738 URL <http://www.nittoh-info.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 寿朗

TEL 052-304-8210

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,918	16.3	57	74.2	71	69.2	43	72.0
2020年3月期第2四半期	4,684	10.7	222	114.9	231	95.5	154	91.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 45百万円 (69.4%) 2020年3月期第2四半期 148百万円 (66.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	10.67	
2020年3月期第2四半期	38.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,899	3,520	59.7
2020年3月期	5,913	3,527	59.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,520百万円 2020年3月期 3,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		13.00	13.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,550	5.7	259	24.8	271	24.7	182	26.5	44.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	4,060,360 株	2020年3月期	4,060,360 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	7,257 株	2020年3月期	7,257 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	4,053,103 株	2020年3月期2Q	4,053,103 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、さまざまな経済活動がその影響を受けて急速に悪化し、わずかに回復の兆しも見えつつありますが、依然として先行き不透明な厳しい状況となりました。また、海外においても、長期化する新型コロナウイルス感染症拡大の影響から景気減速が懸念されており、景気下振れリスク、政策動向による不確実性、金融市場の下振れリスクが、今後、さらにわが国へ与える影響も懸念されております。

当社グループの中心となっている住宅建築業界におきましては、政府による社会経済活動レベルの引き上げ、住宅取得促進に対する諸政策が実施されているものの、2019年10月の消費税増税以降、個人消費者の住宅に対する消費マインドが低下する厳しい状況下にあるなか、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、その厳しさに追い打ちをかける状況となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループの建設工事業において、緊急事態宣言の解除後は、延期されていた工事施工の再開、緊急性の高い修理・補修を必要とするリフォーム工事の受注などで業績確保に努めましたが、新築着工件数の減少による新築建設物向けの工事件数の減少、取引先からの緊急事態宣言の発出による新規商談・工事施工の自粛要請に伴う受注件数の減少により、業績確保は厳しい状況となりました。

住宅等サービス事業では、緊急事態宣言の解除後も、新規のシロアリ対策の物件確保に努めましたが、取引先からの緊急事態宣言の発出による販売促進活動の自粛要請、自粛に伴う受注件数の減少により、業績確保は厳しい状況となりました。

ビルメンテナンス事業では、清掃管理サービスでの新規管理案件の物件確保に努めましたが、取引先からの緊急事態宣言の発出による中止、延期に伴う件数の減少などにより、業績確保は厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,918百万円(前年同四半期比16.3%減)となり、営業利益は57百万円(前年同四半期比74.2%減)、経常利益は71百万円(前年同四半期比69.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は43百万円(前年同四半期比72.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて14百万円減少し、5,899百万円となりました。主な増減は、たな卸資産の増加37百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少46百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて6百万円減少し、2,379百万円となりました。主な増減は、短期借入金の増加100百万円があったものの、支払手形及び買掛金の減少58百万円、長期借入金の減少35百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて7百万円減少し、3,520百万円となりました。主にその他有価証券評価差額金の増加2百万円があったものの、利益剰余金の減少9百万円があったことによるものであります。

(キャッシュ・フロー状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、4百万円減少(前年同四半期は22百万円の増加)し、当第2四半期連結会計期間末には1,355百万円(前年同四半期は1,246百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、0.2百万円(前年同四半期は97百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益71百万円に加えて、売上債権の減少による資金の増加46百万円があったものの、仕入債務の減少による資金の減少58百万円、たな卸資産の増加による資金の減少37百万円、法人税等の支払額22百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、16百万円(前年同四半期は13百万円の増加)となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入27百万円があったものの、定期預金の預入による支出27百万円、営業所拡充に伴う事務所建設費用など有形固定資産の取得による支出10百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、12百万円(前年同四半期は87百万円の減少)となりました。これは、主に短期借入金の純増額100百万円があったものの、配当金の支払額52百万円、長期借入金の返済による支出35百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により合理的に算定することが困難であったため未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき、連結業績予想を公表いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年11月9日)公表の「2021年3月期 業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,393,754	1,389,472
受取手形及び売掛金	1,050,247	1,003,536
たな卸資産	749,938	787,784
その他	70,900	79,818
貸倒引当金	△3,483	△2,870
流動資産合計	3,261,356	3,257,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	895,957	875,062
土地	1,337,709	1,337,709
その他(純額)	12,634	21,746
有形固定資産合計	2,246,300	2,234,517
無形固定資産		
その他	8,958	8,540
無形固定資産合計	8,958	8,540
投資その他の資産		
その他	397,508	399,000
貸倒引当金	△400	△360
投資その他の資産合計	397,108	398,640
固定資産合計	2,652,368	2,641,698
資産合計	5,913,724	5,899,438

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	722,810	664,010
短期借入金	310,000	410,000
1年内返済予定の長期借入金	70,392	70,392
未払法人税等	33,565	30,137
賞与引当金	104,750	104,488
完成工事補償引当金	31,400	33,900
その他	308,271	288,326
流動負債合計	1,581,188	1,601,255
固定負債		
長期借入金	259,216	224,020
退職給付に係る負債	388,886	392,798
長期未払金	9,840	9,840
その他	147,076	151,397
固定負債合計	805,019	778,056
負債合計	2,386,207	2,379,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,072	186,072
資本剰余金	145,813	145,813
利益剰余金	3,162,922	3,153,485
自己株式	△1,883	△1,883
株主資本合計	3,492,923	3,483,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,593	36,640
その他の包括利益累計額合計	34,593	36,640
純資産合計	3,527,517	3,520,127
負債純資産合計	5,913,724	5,899,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	4,684,124	3,918,604
売上原価	3,442,182	2,906,975
売上総利益	1,241,942	1,011,628
販売費及び一般管理費	1,018,957	954,003
営業利益	222,984	57,625
営業外収益		
受取利息	14	9
受取配当金	836	727
受取手数料	2,078	1,800
受取保険金	1,725	1,492
受取賃貸料	5,728	12,554
その他	5,426	5,811
営業外収益合計	15,809	22,395
営業外費用		
支払利息	2,054	1,776
賃貸費用	4,787	5,761
その他	284	1,098
営業外費用合計	7,125	8,635
経常利益	231,667	71,385
特別利益		
固定資産売却益	405	—
特別利益合計	405	—
特別損失		
固定資産売却損	6,654	—
特別損失合計	6,654	—
税金等調整前四半期純利益	225,419	71,385
法人税、住民税及び事業税	60,515	27,698
法人税等調整額	10,526	433
法人税等合計	71,042	28,131
四半期純利益	154,376	43,253
親会社株主に帰属する四半期純利益	154,376	43,253

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	154,376	43,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,238	2,046
その他の包括利益合計	△6,238	2,046
四半期包括利益	148,137	45,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,137	45,299
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	225,419	71,385
減価償却費	22,795	22,898
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,007	△261
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	3,700	2,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,294	3,912
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	△653
受取利息及び受取配当金	△850	△736
支払利息	2,054	1,776
有形固定資産売却損益(△は益)	6,248	—
売上債権の増減額(△は増加)	△157,718	46,710
たな卸資産の増減額(△は増加)	△59,221	△37,845
仕入債務の増減額(△は減少)	99,942	△58,799
その他	6,870	△27,359
小計	161,532	23,527
利息及び配当金の受取額	850	736
利息の支払額	△1,945	△1,785
法人税等の支払額	△63,374	△22,763
営業活動によるキャッシュ・フロー	97,062	△285
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△27,859	△27,860
定期預金の払戻による収入	27,859	27,859
有形固定資産の取得による支出	△79,663	△10,940
有形固定資産の売却による収入	98,373	—
貸付けによる支出	△5,100	△5,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,609	△16,110
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△35,196	△35,196
配当金の支払額	△52,690	△52,690
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,886	12,113
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	22,786	△4,282
現金及び現金同等物の期首残高	1,223,736	1,359,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,246,523	1,355,399

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,166,175	679,804	838,144	4,684,124	—	4,684,124
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,532	1,244	329	20,105	△20,105	—
計	3,184,707	681,049	838,473	4,704,229	△20,105	4,684,124
セグメント利益	182,201	123,430	40,669	346,031	△123,317	222,984

(注) 1. セグメント利益の調整額△123,317千円には、セグメント間取引消去14,761千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△138,078千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,539,080	583,030	796,493	3,918,604	—	3,918,604
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	175	175	△175	—
計	2,539,080	583,030	796,668	3,918,779	△175	3,918,604
セグメント利益	24,678	95,328	48,931	168,937	△111,311	57,625

(注) 1. セグメント利益の調整額△111,311千円には、セグメント間取引消去14,372千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△125,684千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間
(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

当社グループは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時点までに入手可能な情報に基づき、経済状況は緩やかに回復に向かうものの、業績への影響は一定期間続くものと仮定し、会計上の見積りを行っております。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響は不確実性が高く、今後の感染拡大の影響により、会計上の見積りに影響を与える可能性があります。